

学部：ビジネス情報学部

学科：スポーツ健康マネジメント学科

役職：教授

氏名：小笠原正志



最終学歴・学位等

1988年 筑波大学大学院修士課程体育研究科コーチ学専攻 修了（体育学修士）

2004年 久留米大学大学院心理学研究科後期博士課程（単位取得満期退学）

所属学会等

日本スポーツ産業学会、日本スポーツマネジメント学会、日本公衆衛生学会、日本体力医学会、日本健康心理学会

専門・研究領域

地域への運動普及を図るヘルスプロモーション、スポーツを通じた地域活性化

主な論文・著作

（学術論文）

小笠原正志：大学生の国際感覚の涵養と生涯スポーツのきっかけづくりを兼ねた海外ウォーキング実習：韓国に近い大学立地と釜山市の歩行道「カルメッキル」を活用した体育授業の構築. 下関市立大学論集, 61(2), 1-16, 2018.

小笠原 正志ら：超高齢社会のなかで高齢者と地域を元気にする健康運動の普及. 下関市立大学論集, 60(3), 75-90, 2017.

小笠原 正志, 中嶋 健：民間非営利団体が創設し運営管理する済州島周回長距離トレイル「済州オルレ」徒歩旅行ブームの実態. スポーツ産業学研究, 25(1), 113-127, 2015.

小笠原 正志ら：行動科学的手法を用いた運動習慣獲得プログラムによる中高年女性の体脂肪における選択的減少効果～Dual Energy X Ray Absoptiometry(DXA)による身体組成分析～. ヘルスプロモーション理学療法研究, 5(2), 81-90, 2015.

（著書）

小笠原 正志：身体活動のヘルスプロモーション. 運動・スポーツ・パフォーマンスの心理学, 高見和至編, 化学同人（京都）, pp.115-128, 2016.

小笠原 正志：高尿酸血症と健康づくり. 健康づくりトレーニングハンドブック, 進藤 宗洋, 田中 宏暁, 田中 守編, 朝倉書店(東京都), pp.398-413, 2010.

小笠原 正志, 津田 彰：健康行動のモデル. 第4巻 健康教育概論, 日本健康心理学会(滝澤 武久, 木村 登紀子 責任編集)編, 実務教育出版(東京都), pp.17-40, 2003.

（その他）

小笠原 正志：元気な高齢者を増やし、幸せな地域に. 月刊ガバナンス, 2019年2月号(特集：人口減少時代の“幸せ”な地域づくり), pp. 20-22, 2019.

Masashi Ogasawara: 세계에 발신하는 사단법인제주올레의 비즈니스모델 (世界に羽ばたく社団法人済州オルレのビジネスモデル), Asia Trails Network 臨時総会 特別講演, 済州国際コンベンションセンター, 2018.